

# エコアクション21 環境経営レポート

令和5年度版



運用期間

R5年4月～R6年3月



株式会社若松建設

令和6年5月9日作成

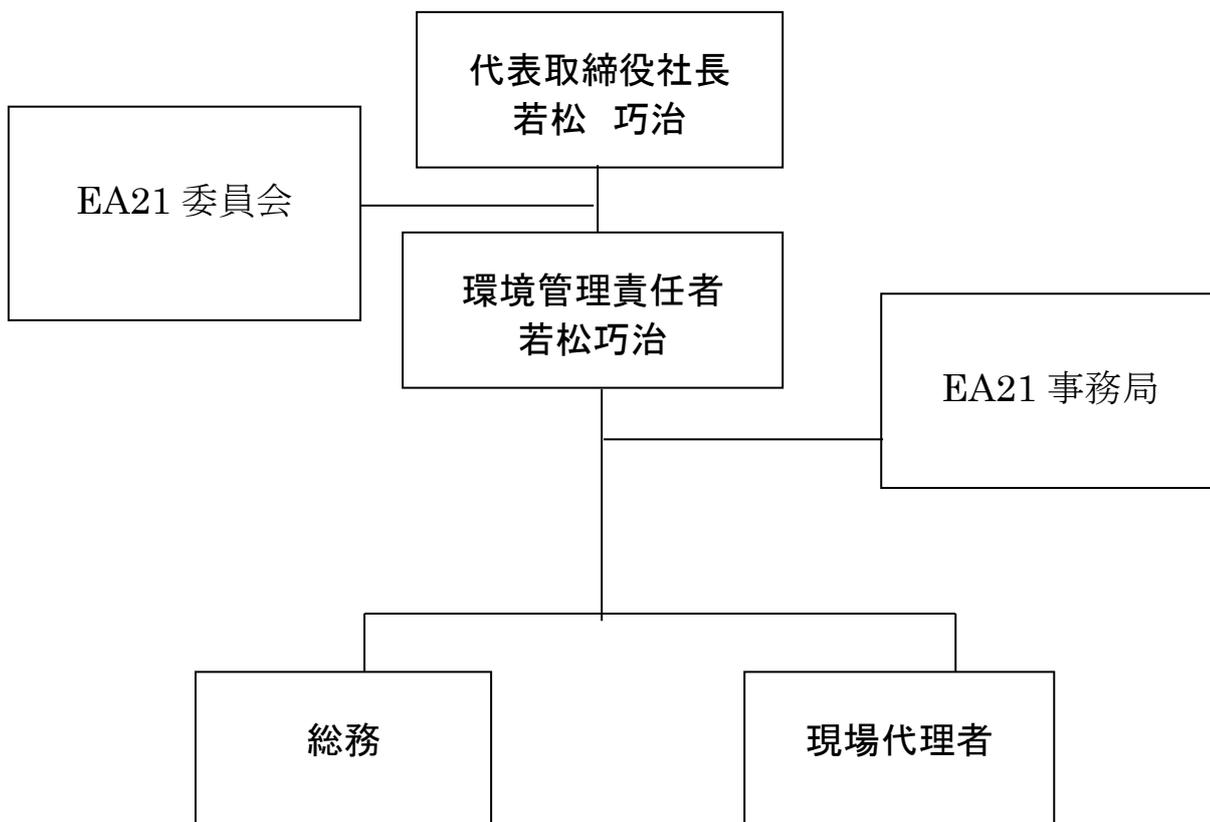
## 1. 組織の概要

1. 事業所名 代表者氏名	株式会社若松建設 代表取締役 若松 巧治				
2. 所在地	本社 〒802-0804 福岡県北九州市小倉南区下城野3丁目10-1 資機材倉庫 〒800-0243 福岡県北九州市小倉南区西貫1丁目3-10				
3. 資本金	3,000万円				
4. 会社設立年月日	昭和54年5月15日				
3. 環境管理責任者	代表取締役 若松 巧治				
4. 担当者氏名 連絡先	総務部 若松恵美子 TEL 093-921-6047 FAX 093-921-3641 Eメールアドレス ; wakamatu-kensetu@kuf.biglobe.ne.jp				
5. 事業の内容	特定建設業(建築工事、土木工事、塗装工事)				
6. 事業の規模		単位	R3年度	R4年度	R5年度
	売上高	百万円	290	156	286
	従業員数	人	4	5	4
	床面積	m <sup>2</sup>	46	46	46
7. 当社の事業年度	4月1日～翌年3月31日 (今回の経営レポートの対象期間は、 令和5年4月1日～令和6年3月31日)				
8. 認証・登録の対象 範囲	全組織・全活動				



(1)

## 2. 環境経営計画の実施体制



所属 {役職}	役割・責任・権限・使命
代表取締役	全体の統括・環境方針の策定・環境への取組を行う為の資源の準備・全体の評価と見直し 環境管理責任者・環境経営システムを構築し、運用する。
EA21委員会	3ヶ月毎開催し、環境目標の達成状況・活動計画の実施状況を審議し、決定する。
EA21事務局担当者	EA21文書類の作成・維持管理 データの把握と環境管理責任者への報告
現場代理者	建設現場のエネルギー削減活動及び建設リサイクル活動の推進・下請け者に対する指導

### 3. 環境経営方針

#### 基本理念

株式会社若松建設は、建築工事の施工を通じて、弊社のみならず、協力会社と連携して環境保全の意識改革を進めながら、地球環境保全の継続的な改善を行い、地球環境に配慮して行動します。

#### 行動指針

環境経営システムを構築・運用し、環境負担の低減を継続的に行いながら、以下の事項に取り組んでいき、推進してまいります。

1. 二酸化炭素排出削減に取り組めます。  
使用エネルギー(電力、ガソリン、軽油)の削減に努めます。
2. 省資源並びにリサイクルに取り組めます。
  - ① 産業廃棄物の削減はもとより、分別を徹底してリサイクルを推進します。
  - ② 水使用量削減をこころがけ、節水に取り組めます。
3. 事務用品のグリーン購入に努めます。
4. 事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。
5. 建設現場における景観及び環境保全に努めます。
6. 協力会社と連携して、環境保全を理解し、改善を図ります。
7. 行政機関等や地域社会とボランティア活動を通して、地域環境の美化と環境意識の向上に努めます。
8. 人材の確保及び育成に努めます。
9. この環境方針は、社員全員に周知し、協力会社等にも公開します。
10. 環境経営の継続的改善を誓約します。

平成 22 年 4 月 1 日(制定日)  
令和 4 年 1 月 21 日(改定日)  
株式会社 若松建設  
代表取締役 若松巧治

#### 4. 当年度及び中期環境経営目標

令和元年度に基準値を変更した。

事業形態の変化により当初の目標値では、正確に状況を把握できないので、令和元年度から基準値に現在の事業形態を最も反映している平成 29 年度を基準値とした。

##### (1) 事務所

項目	単位	SDGs との関係性	(基準) H29 年 度	(目標) R5 年度	(目標) R6 年度	(目標) R7 年度
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>		2,966	2907 -2%	2,891 -2.5%	2,877 -3%
① 電力使用量の削減	kWh		2,913	2,855 -2%	2,840 -2.5%	2,825.6 -3%
② ガソリン使用量の削減	ℓ		760	744.8 -2%	741 -2.5%	737.2 -3%
2 廃棄物排出量の削減	kg		94	92.12 -2%	91.65 -2.5%	91.18 -3%
3 水使用量の削減	m <sup>3</sup>		89.2	87.42 -2%	86.97 -2.5%	86.52 -3%
4 会社周辺の清掃	実施回数		週二回 以上	週二回 以上	週二回 以上	週二回 以上

\*電力の二酸化炭素実排出係数は、九州電力の 2020 年度の調整後排出係数 0.365kg-CO<sub>2</sub>/kWh を用いた。

\*化学物質は使用していない。

\*表内の%は、基準年度である平成 29 年度からの削減率を表している。

##### (2) 建設現場

項目	単位	SDGs との関係性	(基準) H29 年 度	(目標) R5 年度	(目標) R6 年度	(目標) R7 年度
1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>		6,551	6,420 -2%	6,387 -2.5%	6,354 -3%
① 電力使用量の削減	kWh		15,968	15,649 -2%	15,568 -2.5%	15,489 -3%
② ガソリン使用量の削減	ℓ		293	287 -2%	285 -2.5%	284 -3%
2 廃棄物排出量の削減	t		1,211	1,187 -2%	1,180 -2.5%	1,175 -3%
3 無事故	件数		0	0	0	0
4 現場周辺の清掃	実施回数		週一回	週一回	週一回	週一回

\*電力の二酸化炭素実排出係数は、九州電力の 2020 年度の調整後排出係数 0.365 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を用いた。

\*化学物質は使用していない。

\*表内の%は、基準年度である平成 29 年度からの削減率を表している。

## 5. 当年度の主な環境経営計画

### 5-1.二酸化炭素排出量の削減

#### (1) 電力使用量の削減

- ① エアコンの設定温度を決め、実行する
- ② 倉庫等の不要照明灯の点滅

#### (2) 燃料の使用量の削減

- ① 運転と搬送方法を見直し、アイドリングストップ手順を決め、実行する
- ② 重機等使用する下請け業者に協力を求める。

### 5-2. 廃棄物排出量削減

鋼材の搬入用で発生する梱包材等に、購入先との交渉を行い、削減を進める

### 5-3. 水使用量の削減

節水活動の推進

### 5-4. 会社周辺の清掃

週二回以上会社周辺の清掃を行う

### 5-5. 建設現場での無事故・無災害の達成

- (1) 朝礼及び工程会議での日々の工事のリスクとその対処方法の確認
- (2) 作業開始直前に現場で行う実践 KY(危険予知)活動及び安全パトロールを中心とした現場での安全活動

### 5-6. 再資源化推進 (コンクリート、木材、アスファルト)



## 6. 目標の実績

令和5年4月～令和6年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

### 事務所

目標	単位	令和5年度 目標	令和5年度 実績	目標達成 の確認
二酸化炭素排出量	総量 Kg-CO <sub>2</sub>	2,907	1,283.6	○
電力の使用量の削減	kWh	2,855	2691	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	744.8	117.2	○
廃棄物排出量の削減	kg	92.12	65.6	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	87.42	20	○
会社周辺の清掃	実施回数	週二回以上	週二回以上	○

\*電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2020年度の0.365 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いた

### 建設現場

目標	単位	令和5年度 目標	令和5年度 実績	目標達成 の確認
二酸化炭素排出量	総量 kg-CO <sub>2</sub>	6,420	4,973	○
電力の使用量の削減	kWh	15,649	7,668	○
ガソリン使用量の削減	ℓ	287	937	×
廃棄物総排出量の削減	t	1,187	373.3	○
無事故	件数	0	0	○
現場周辺の清掃	実施回数	週一回	週一回	○

\*電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2020年度の0.365 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いた



## 7. 環境経営計画の取組結果とその評価

### 7-1. 二酸化炭素排出量の削減

#### (1) 電力使用量の削減

事務所は、年間を通じては、目標値を達成することが出来たが、7月～9月の夏季、10月～12月の冬季は目標値を上回った。対策として節電をネットなどで調べて、消費量を減少させたい。建設現場は、受注工事により、工事の工程が異なるが協力会社にも節電を心掛けてもらい、目標を達成した。  
今後も、協力会社への呼びかけをさらに強化していきたい。

#### (2) ガソリン使用量の削減

事務所は、目標値に達成することができたが、建設現場は、今回は現場が片道20キロ以上の距離だったので、目標値を超えた。建設現場のアイドリングストップ運動は、現場全体で取り組むことができた。次年度は、目標値の達成と併せて、アイドリングストップ運動を協力して進めていく必要がある。

### 7-2. 総廃棄物量排出量の削減

総廃棄物排出量の削減は、事務所ではコピー用紙の裏紙使用、建設現場では建設材料の梱包材の削減を目標にしてクリアした。

### 7-3. 水使用量の削減

水使用量は、目標を達成した。

### 7-4. 会社周辺の清掃と現場周辺の清掃

事務所は、悪天候以外の日、毎日会社周辺の清掃を行った。  
現場周辺も、定期的に現場全体で行った。

## 8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### 8-1. 二酸化炭素排出量の削減の取組

#### (1) 電力使用量の削減

事務所では、電気使用量を抑えるためにはどうしたらいいのか情報収集などを行い、工夫しながら節電を心がけたい。現場では、受注工事により電力使用量も変化するが、工夫しながら、節電に努めていきたい。

#### (2) ガソリンの使用量の削減

事務所及び建設現場でもアイドリングストップを心掛ける。さらに建設現場では、協力会社にもアイドリングストップを呼び掛け、削減に対応していく。

### 8-2. 廃棄物排出量の削減の取組

事務所ではコピー用紙の裏紙使用の徹底、建設現場では、リサイクルしやすい製品を購入し現場での産業廃棄物の発生抑制に努める。また、産業廃棄物を混合廃棄物としないように下請業者に徹底し、適正に処理されているか現場責任者は、提出書類により細かく確認する。

### 8-3. 水使用量の削減の取組

今後もさらなる節水活動を推進していく。

### 8-4. 会社周辺の清掃と現場周辺の清掃

会社周辺は、本年度も悪天候以外は、毎日清掃を行いたい。  
現場周辺の清掃も主体となり現場全体で取り組んでいきたい。

## 9.環境関連法規などの遵守状況及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、法的違反は無かった。

法律名	遵守状況
廃棄物処理法	遵守している
資源有効利用促進法	遵守している
PRTR 法	遵守している
建設リサイクル法	遵守している
容器包装リサイクル法	遵守している
オフロード法	遵守している
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	遵守している
建築基準法	遵守している
学校環境衛生の基準	遵守している
騒音規制法	遵守している
振動規制法	遵守している
火薬類取締法	遵守している
消防法	遵守している
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	遵守している
建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル	遵守している
大気汚染防止法	遵守している
オゾン層保護法	遵守している
浄化槽法	遵守している
労働安全衛生法	遵守している
鳥獣保護法	遵守している
セメント及びセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要綱	遵守している
環境基本法	遵守している

工事現場での騒音等の苦情は、事前に地域町内会長への連絡やチラシを各戸への配布を行い、苦情は無かった。

その他、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情はありませんでした。

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

令和5年度は、概ね目標値達成を達成することが出来た。さらに来年度も努めていきたい。請け負った工事により内容は変わっていくと思うが、協力会社とも協力を呼び掛けながら、更にレベルを向上するように取組みたい。

(株)若松建設 代表者 若松巧治

## 建設現場の清掃活動

弊社では、定期的に建設現場内の清掃は勿論のこと、さらに建設現場近隣も清掃しています。



建設現場付近の土埃を洗浄



定期的に清掃活動をしています